利用マニュアル

操作編（一般ユーザ）［ストレージサービス連携プラグイン for kintone]

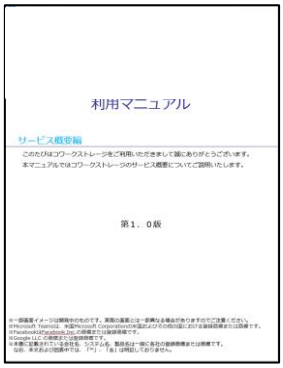
このたびはStandOne ストレージをご利用いただきまして誠にありがとうございます。
本マニュアルでは一般ユーザのストレージサービス連携プラグイン for kintoneに関する操作を説明します。

第１３．1版

※一部画面イメージは開発中のものです。実際の画面とは一部異なる場合がありますのでご注意ください。
※本書に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。
なお、本文および図表中では、「™」、「®」は明記しておりません。

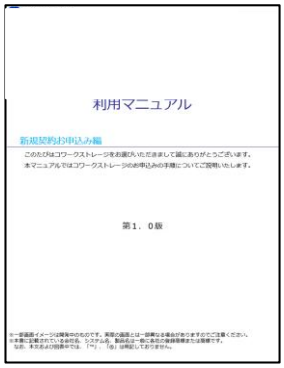
利用マニュアルについて

①：サービス概要



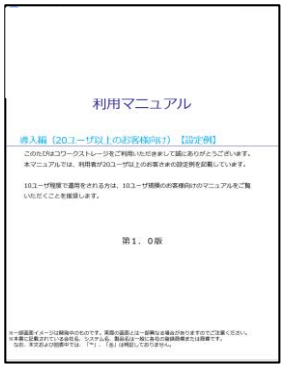
本サービスの
サービスの概要や特長を説明

②：新規契約お申込み編



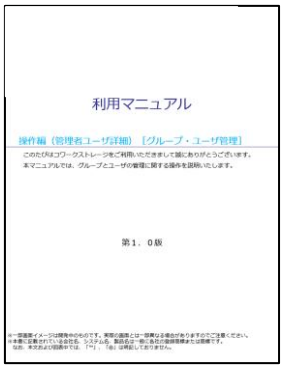
本サービスの
新規お申込み方法を説明

③：導入編【設定例】



本サービスの初期設定を設定例
から説明

④：操作編
（管理者ユーザ詳細）



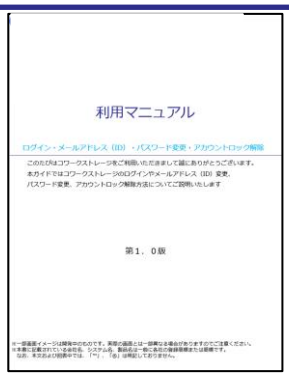
管理者権限を持つ利用者様向け
の操作説明

⑤：操作編
（一般ユーザ詳細）



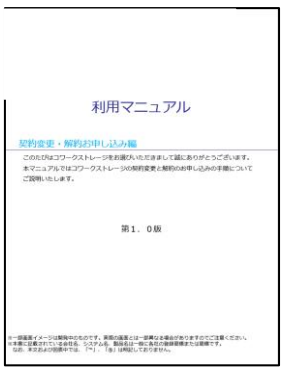
ユーザ向けの操作説明

⑥：ログイン・メールアドレス、パスワード変更、アカウントロック解除編



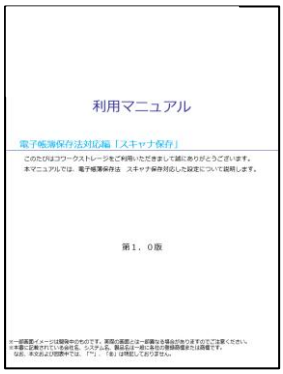
本サービスへのログイン、メール
アドレス・パスワード変更、
アカウントロック解除の操作説
明

⑦：契約変更･解約申込編



ご契約情報確認方法や
変更について説明

⑧：電子帳簿保存法対応編



電子帳簿保存法に対応するため
の設定・操作方法を説明

改版履歴

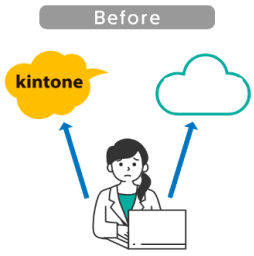
版	年月	改訂内容	改訂箇所
1.0版	2024年10月	初版作成	
12.0版	2025年7月	ストレージのフォルダに対応するレコード生成の仕様変更に伴い、記述を更新しました。	2-5
		kintone上からストレージのファイルを開く際の仕様変更に伴い、記述を更新しました。	3-6
12.4版	2025年10月	フィールド設定「フォルダID」の最大文字数を更新しました。	2-1
13.1版	2026年8月	フォルダ自動生成テンプレートにサブフォルダの項目を追加しました。	2-6

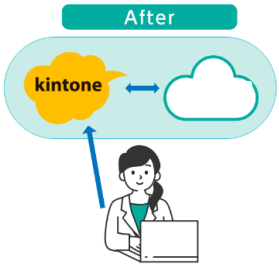
目次

０．ストレージサービス連携プラグイン for kintoneについて ・・・・・・・ 4
１．ストレージサービス連携プラグイン for kintoneのご利用開始 ・・・・・・・ 5
２．ストレージサービス連携プラグイン for kintoneの各種設定 ・・・・・・・ 7
３．ストレージサービス連携プラグイン for kintoneの各種操作 ・・・・・・・20

0 ストレージサービス連携プラグイン for kintoneについて

StandOne ストレージとサイボウズが提供する「kintone」または NTT東日本が提供する「kintone for おまかせはたラクサポート」を連携するプラグインです。
「StandOne ストレージ」と対象サービスの双方向からファイルの確認やアップロード等を行うことが可能です。





【Beforeの手順】
①「kintone」でデータ作成
②「StandOne ストレージ」でフォルダ作成
③「StandOne ストレージ」にファイル格納
④「kintone」データに「StandOne ストレージ」のフォルダパスを記載

【Afterの手順】
①「kintone」でデータ作成
→自動で「StandOne ストレージ」にフォルダ作成
②「kintone」内の「StandOne ストレージ」フォルダへファイルを格納

事前に

■ストレージサービス連携プラグイン for kintoneをご利用いただくには、別途kintoneの契約が必要です。

■「ストレージサービス連携プラグイン for kintone」の利用規約に同意の上本プラグインをご利用ください。

■本書は、すでにkintoneをご利用いただいている方向けに作成しております。

ここに注意

■ストレージサービス連携プラグイン for kintoneのログインで、回線認証は未対応です。
※「アクセス経路設定」が「回線認証のみ」の場合、
ストレージサービス連携プラグイン for kintoneを使用できません。

■ストレージサービス連携プラグイン for kintoneは、kintoneモバイルアプリには未対応です。
モバイルで使用する場合は、ブラウザ版のkintoneにてご利用ください。

■他プラグインとの併用は動作保証外です。
併用した際に発生した不具合についてはサポート外となります。

■ストレージサービス連携プラグイン for kintoneで利用可能な機能は下記の通りです。
●ファイル操作：・アップロード　・名前の変更
・プレビュー　・削除
・移動
・ストレージで対象ファイルを開く
●フォルダ操作：・新規作成　・名前の変更
・移動

※機能の詳細については、「3．ストレージサービス連携プラグイン for kintoneの各種操作」を参照ください。

1 ストレージサービス連携プラグイン for kintoneのご利用開始

ここに注意

■以下画面はkintoneモバイル版で非対応となるため、
初期設定はPCで実施してください。
・プラグインの追加するためのkintone管理画面
・プラグインをアプリに設定する画面

ストレージサービス連携プラグイン for kintoneをご利用開始するための
手順について説明します。以下の順で実施してください。

- **ダウンロード**
- **プラグイン設定**

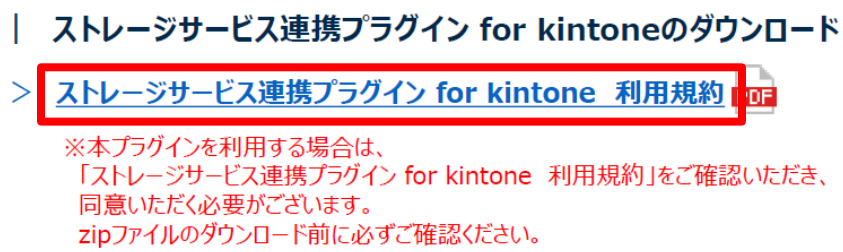
1．ダウンロード

ストレージサービス連携プラグイン for kintoneをダウンロードします。

1．以下ダウンロードサイトにアクセスします。

ダウンロードサイト
https://business.NTT-east.co.jp/support/storage/news/donwload_storageservice_for_kintone.pdf

2．ダウンロードサイト内にある利用規約を確認します。
※zipファイルダウンロード前に確認が必要です。



3．ストレージサービス連携プラグイン for kintoneのzipファイル
「storageservice_for_kintone.zip」をダウンロードします。

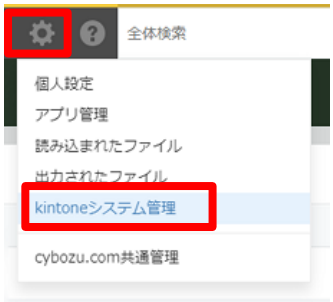
※保存先は、お好きな場所を指定してください。
※zipファイルを解凍する必要はありません。



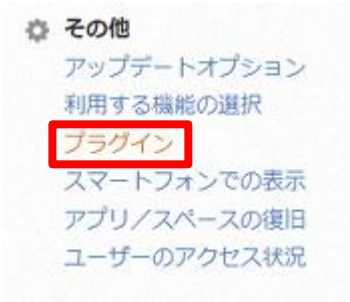
2．プラグイン設定

ストレージサービス連携プラグイン for kintoneのご利用にはプラグイン設定が必要です。
以下の手順でプラグイン設定をします。

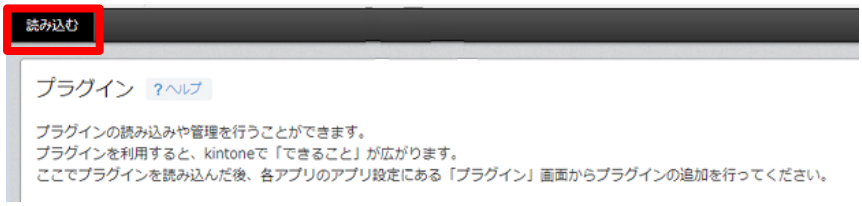
1．kintoneにログインし、[設定アイコン] – [kintoneシステム管理]を選択します。



2．その他の[プラグイン]を選択します。



3．画面左上の[読み込む]を選択します。



4．[参照]を選択し、ダウンロードしたプラグインのファイルを選択し、
[読み込む]を選択します。



2 ストレージサービス連携プラグイン for kintoneの各種設定

ストレージサービス連携プラグイン for kintoneの設定について説明します。

1. フィールド設定
2. アプリへのプラグイン追加
3. 契約事業者コードの設定
4. ストレージ認証
5. 連携するストレージのフォルダ設定
6. フォルダの自動生成
7. 対応フィールド設定
8. 設定の保存

2 ストレージサービス連携プラグイン for kintoneの各種設定

1．フィールド設定

1．新規アプリの作成、または既存アプリにてアプリの設定画面を開きます。

2．必要なフィールドを追加・設定します。

【新規アプリの場合】



【既存アプリの場合】



No	フィールドの種類	備考
①	文字列（1行）	本サービスのフォルダ名を入力するフィールド ※ここに記載された内容で本サービスのフォルダが生成される
②	文字列（1行）	フォルダIDが登録されるフィールド ※アプリ画面では非表示となる
③	スペース	本サービスUIが表示されるエリア

2 ストレージサービス連携プラグイン for kintoneの各種設定

1．フィールド設定

3．各フィールドで[設定]を選択し、詳細設定を行います。



No	フィールド名	必須項目	重複禁止	最大文字数	フィールドコード
①	フォルダ名 ※任意の名前でも可	✅	✅	64	フォルダ名
②	フォルダID		✅	64	フォルダID
③					UI

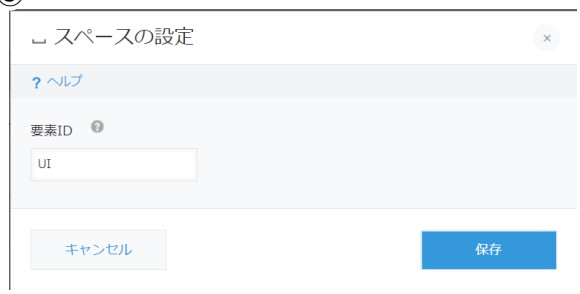
①



②



③



2．アプリへのプラグイン追加

1．[設定]タブを選択します。



2．[プラグイン]を選択し、プラグイン画面を開きます。



3．[追加する]を選択します。

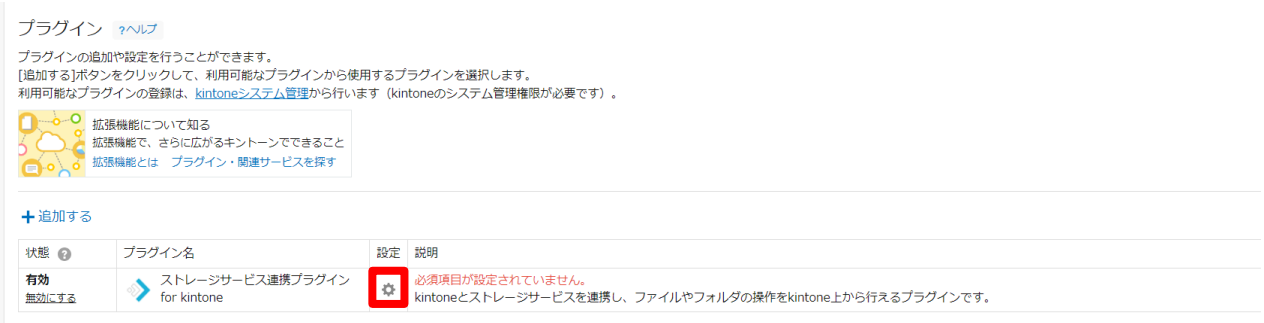


4．[ストレージサービス連携プラグイン for kintone]を選択し、[追加]を選択します。



3．契約事業者コードの設定

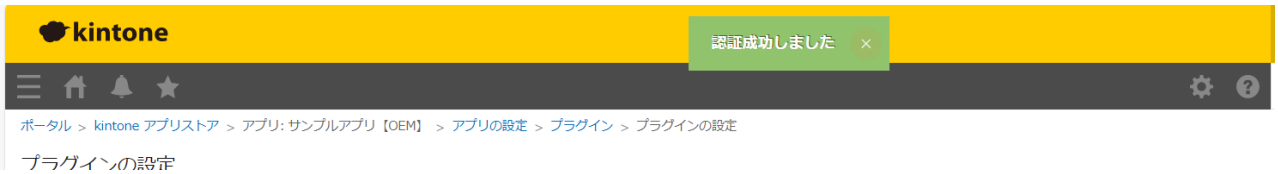
1．[設定アイコン]を選択し、プラグイン設定画面を開きます。



2．「①契約事業者コードの設定」の入力欄に「（事業者コード）」を入力し、[事業者コード認証]を選択します。

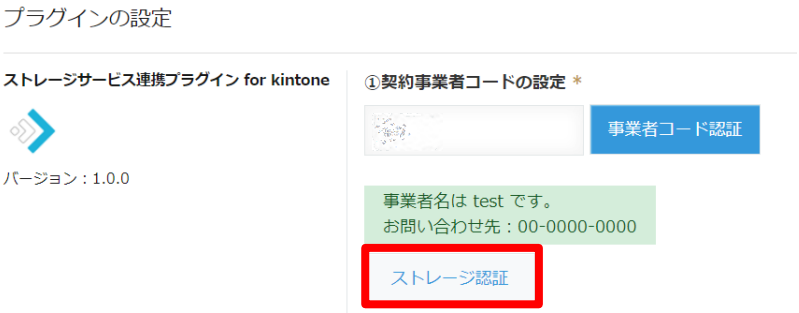


3.「認証成功しました」というポップアップが表示されることを確認します。



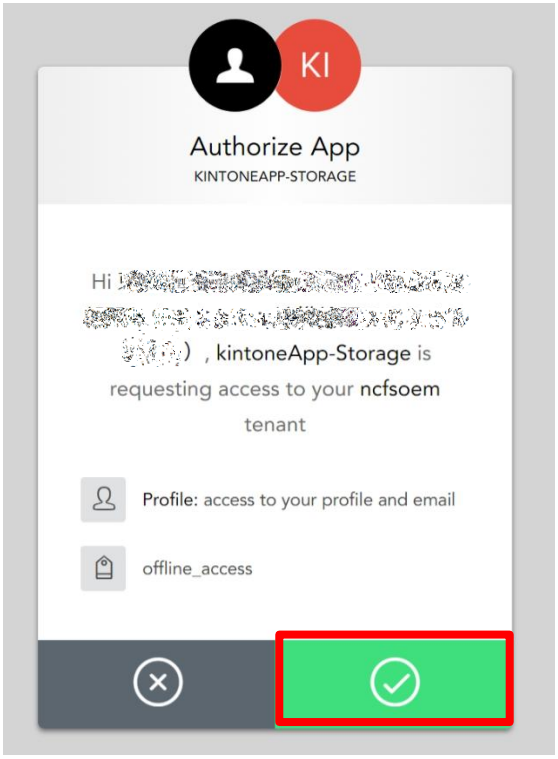
4．ストレージ認証

1．[ストレージ認証]を選択します。



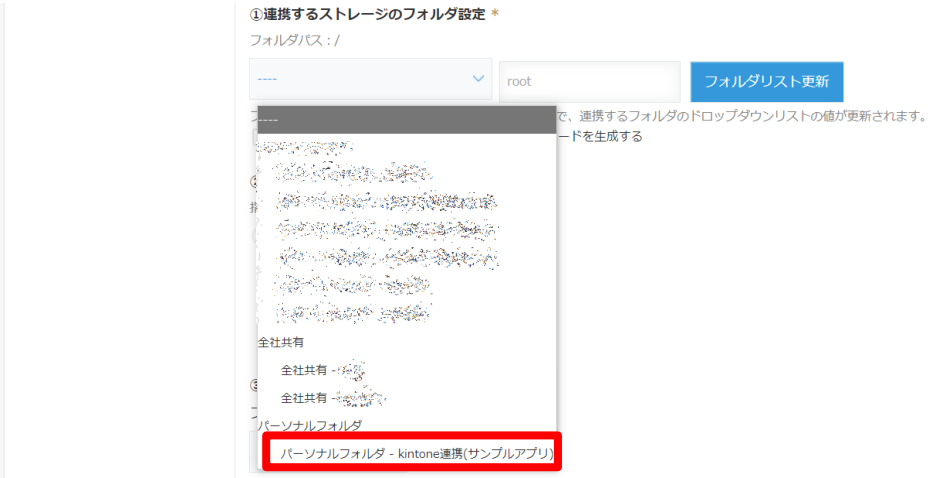
※ログイン画面が表示されるので、設定されているログイン方法でログインしてください。

2．ログイン完了後に表示される同意画面にて[チェックマーク]を選択します。



5．連携するストレージのフォルダ設定

1．フォルダリストから連携するフォルダを選択します。

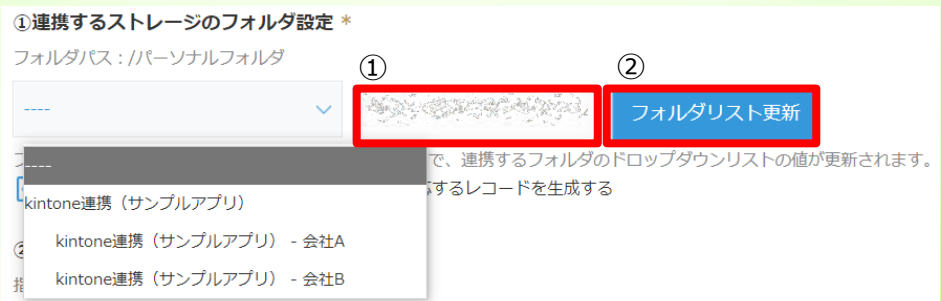


ポイント

■選択したフォルダの配下に、kintoneで作成したレコードのフォルダが生成されます。
※例　[全社共有 – kintone連携]を連携するフォルダに設定し、
　　kintone上で「会社A」「会社B」「会社C」　のレコードを作成した場合
　全社共有
　　|_kintone連携
　　|_会社A
　　|_会社B
　　|_会社C
　　[全社共有 – kintone連携]配下に、「会社A」「会社B」「会社C」のフォルダが生成される

■全社共有、パーソナルフォルダ、スマートフォルダ、
また、その配下にある全てのフォルダが選択可能です。
※プロジェクトフォルダは対象外です。

■フォルダIDでフォルダを指定することが可能です。
フォルダIDを入力し、[フォルダリスト更新]を選択すると、
そのフォルダIDとその配下にあるフォルダのリストが表示されます。



5．連携するストレージのフォルダ設定

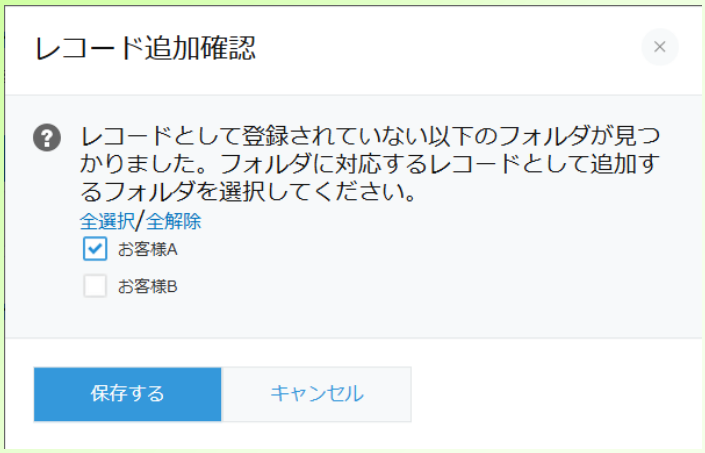
2．選択した連携フォルダの配下に既に存在するフォルダに対して、
kintone側にそのフォルダに対応するレコードを生成する場合は、
チェック項目を選択してください。



ポイント

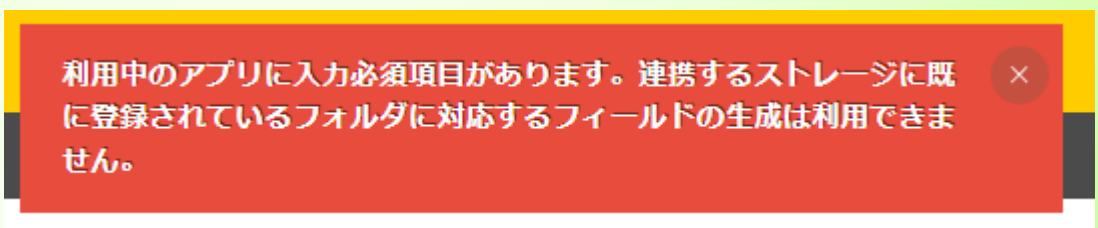
レコードとして登録されていないフォルダがある場合、
以下のような確認ダイアログが表示されます。

フォルダに対応するレコードとして追加するフォルダにチェックし、
[保存する]を選択してください。



※[全選択]、[全解除]よりチェックボックスの一括選択/解除が可能です。

※本サービスと対応するレコードを追加したい際に、
アプリにフォルダ名を入れるフィールドとは別に**必須フィールド**がある場合は
以下のようなエラーが表示されるため、レコードの追加はできません。
必須フィールドを削除した状態で、再度設定を行ってください。

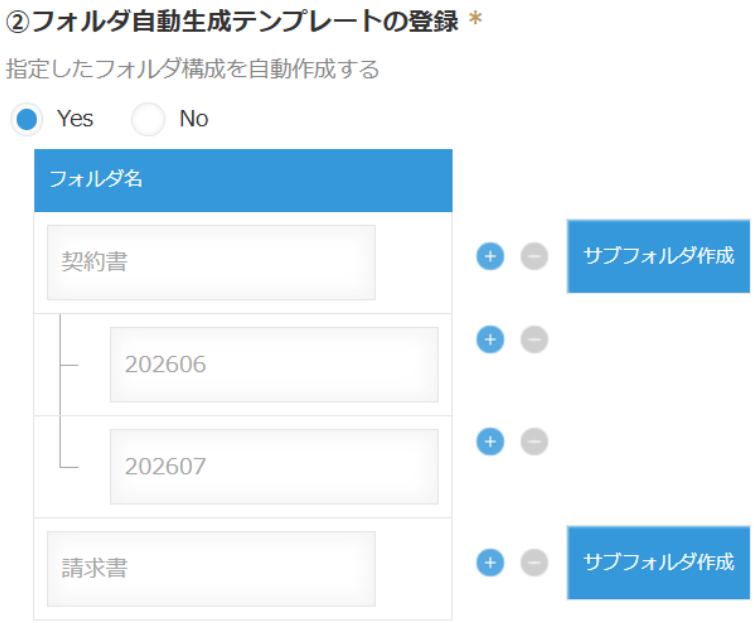


6．フォルダの自動生成

レコードを追加した際に、自動的にフォルダを追加する方法を説明します。

1．自動生成テンプレートの登録の[Yes]を選択します。

2．自動で追加したいフォルダの名前を入力します。



参考情報

・[サブフォルダ作成]ボタンを選択するとサブフォルダの項目を作成します。
・[＋]ボタンを選択するとフォルダ、サブフォルダの項目が増えます。
・[－]ボタンを選択するとフォルダ、サブフォルダの項目が削除されます。

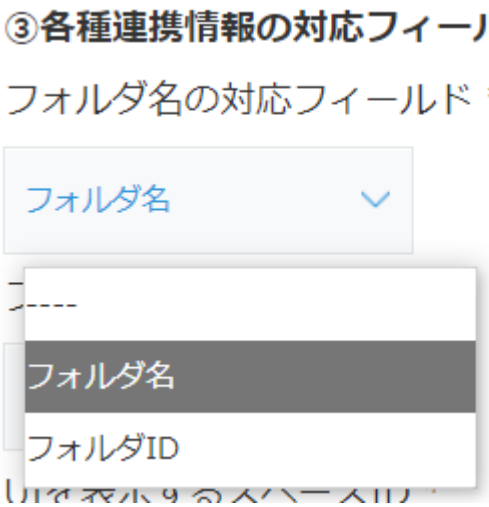
※テンプレートを登録すると、レコード作成時に自動的に設定したフォルダが作成されます。



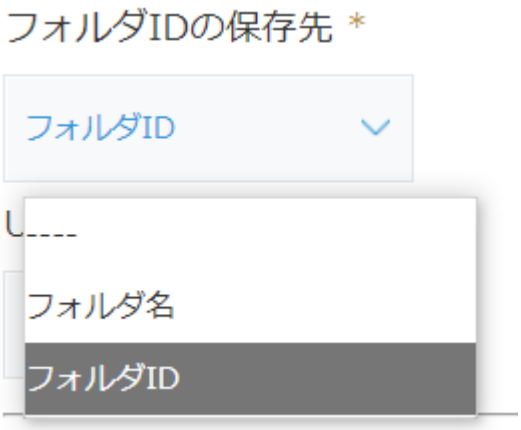
7．対応フィールド設定

【1．フィールド設定】にて追加した３つのフィールドを対応付けします。

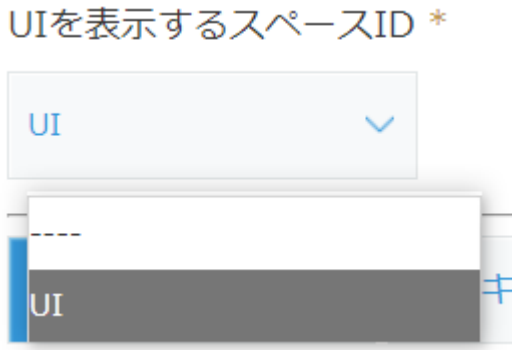
1．「フォルダ名」に対応するフィールドとして、[フォルダ名]を選択します。



2．「フォルダID」の保存先として、[フォルダID]を選択します。

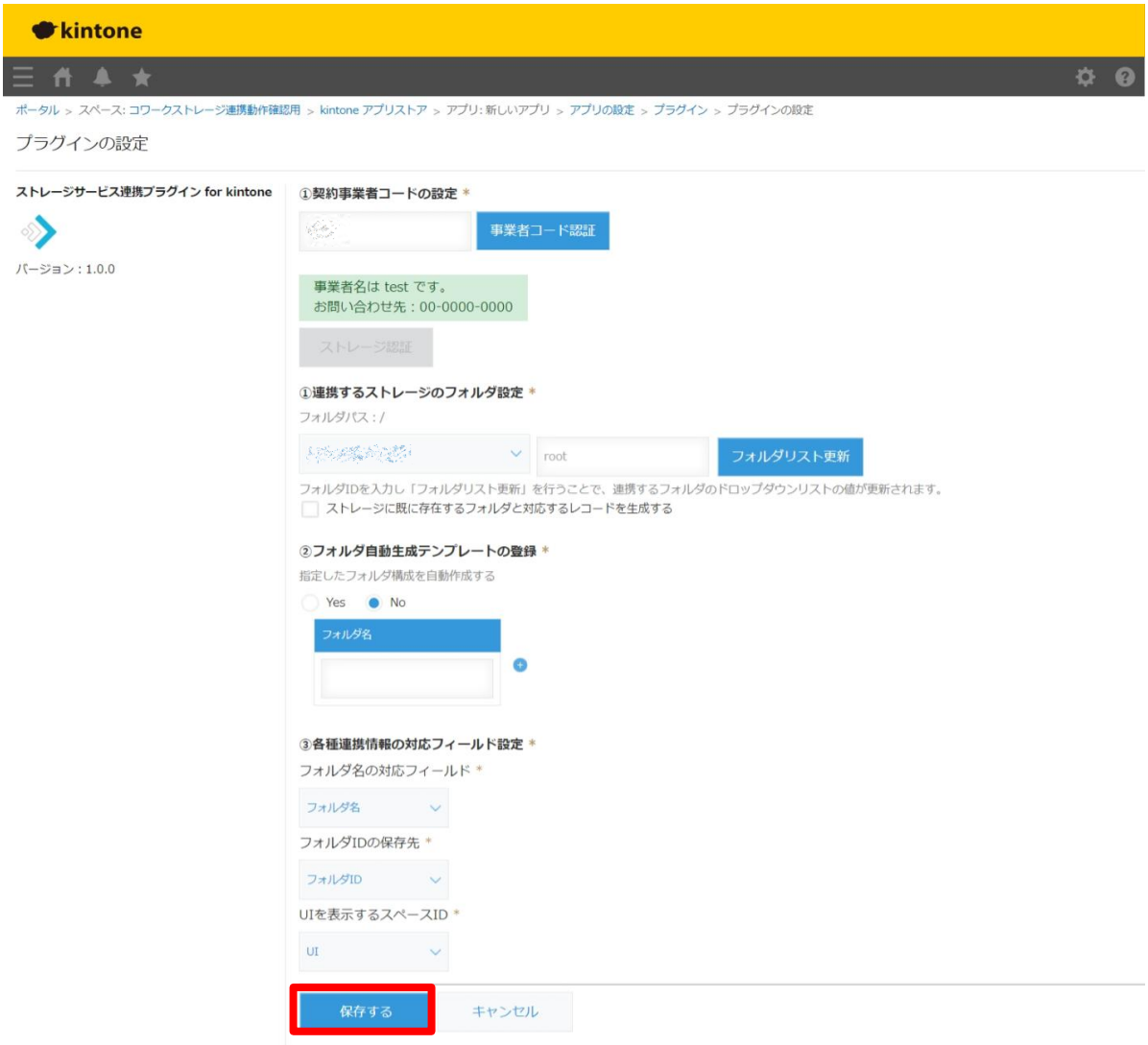


3．「UI」を表示するスペースIDとして、[UI]を選択します。

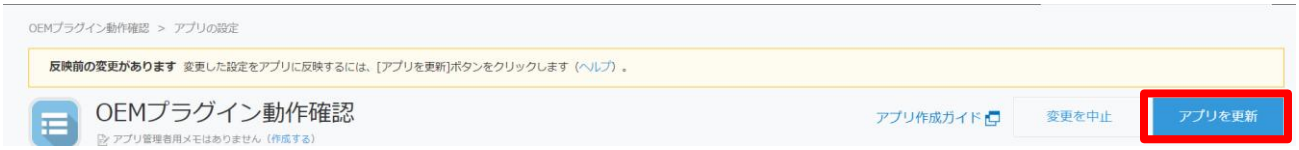


8．設定の保存

1．全ての項目が設定が完了したら、[保存する]を選択します。



2．アプリの設定へ戻り、[アプリを更新]を選択します。



参考情報

・既存アプリに本プラグインを設定した場合、既にkintone側にあるレコードについては対象レコードを**レコード詳細画面で表示**した際にストレージ側へ反映されます。
操作の詳細は、「レコード詳細の表示」を参照ください。

2 ストレージサービス連携プラグイン for kintoneの各種設定

※iOS、Macで本プラグインを利用する場合、以下設定変更が必要となります。

【iOSを利用する場合】

1．ホーム画面から［設定］を選択します。

2．本プラグインを利用するブラウザを選択します。

3．※Safariの場合
「サイト越えトラッキングを防ぐ」が緑色（有効）の場合は、
スライダを選択し白色（無効）にします。

※Firefox、Chromeの場合
「Webサイト越えトラッキングを許可」が白色（無効）の場合は、
スライダを選択し緑色（有効）にします。

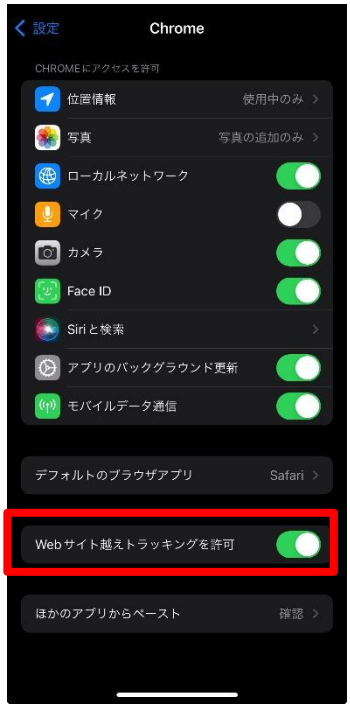
Safariの場合



Firefoxの場合



Chromeの場合



【Macを利用する場合】

1．MacでSafariアプリ に移動します。

2．「Safari」＞「設定」と選択してから、「プライバシー」を選択します。

3．「サイト越えトラッキングを防ぐ」を解除します。





3 ストレージサービス連携プラグイン for kintoneの各種操作

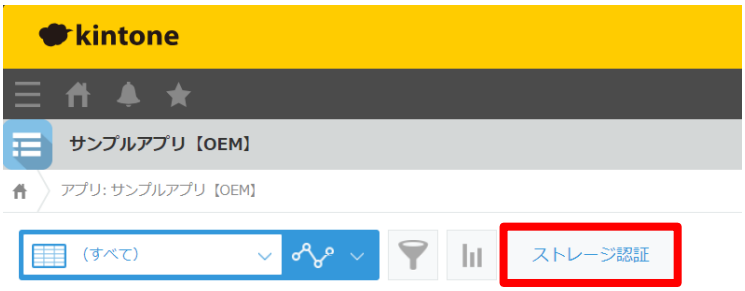
ストレージサービス連携プラグイン for kintoneの各種操作について説明します。

1. ストレージ認証
2. レコードの作成
3. レコードの編集
4. レコードの削除
5. レコード詳細の表示
6. ファイル・フォルダ操作
   - ①アップロード
   - ②フォルダ作成
   - ③名前の変更
   - ④削除
   - ⑤移動
   - ⑥プレビュー
   - ⑦ストレージで開く

3 ストレージサービス連携プラグイン for kintoneの各種操作

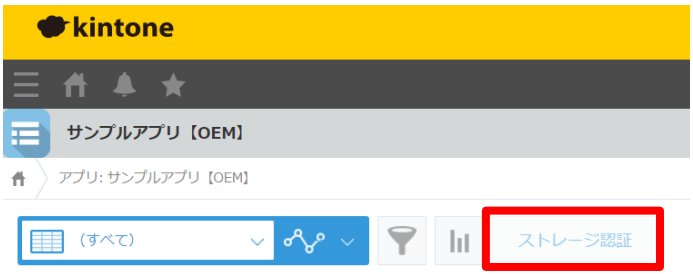
1．ストレージ認証

1．[ストレージ認証]を選択します。



※設定されているログイン方法でログインしてください。

※認証が通ると[ストレージ認証]ボタンが非活性となります。



参考情報

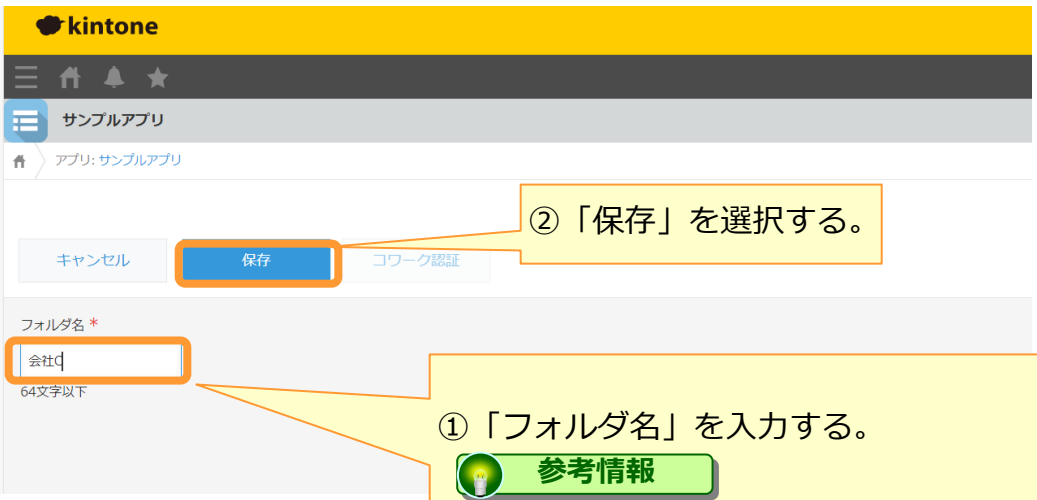
他の画面で表示される[ストレージ認証]も同じ操作、同じ表示方法です。

2．レコードの作成

1．レコード一覧画面で、[＋]を選択します。



2．レコード作成画面で必要な情報を入力し、保存します。



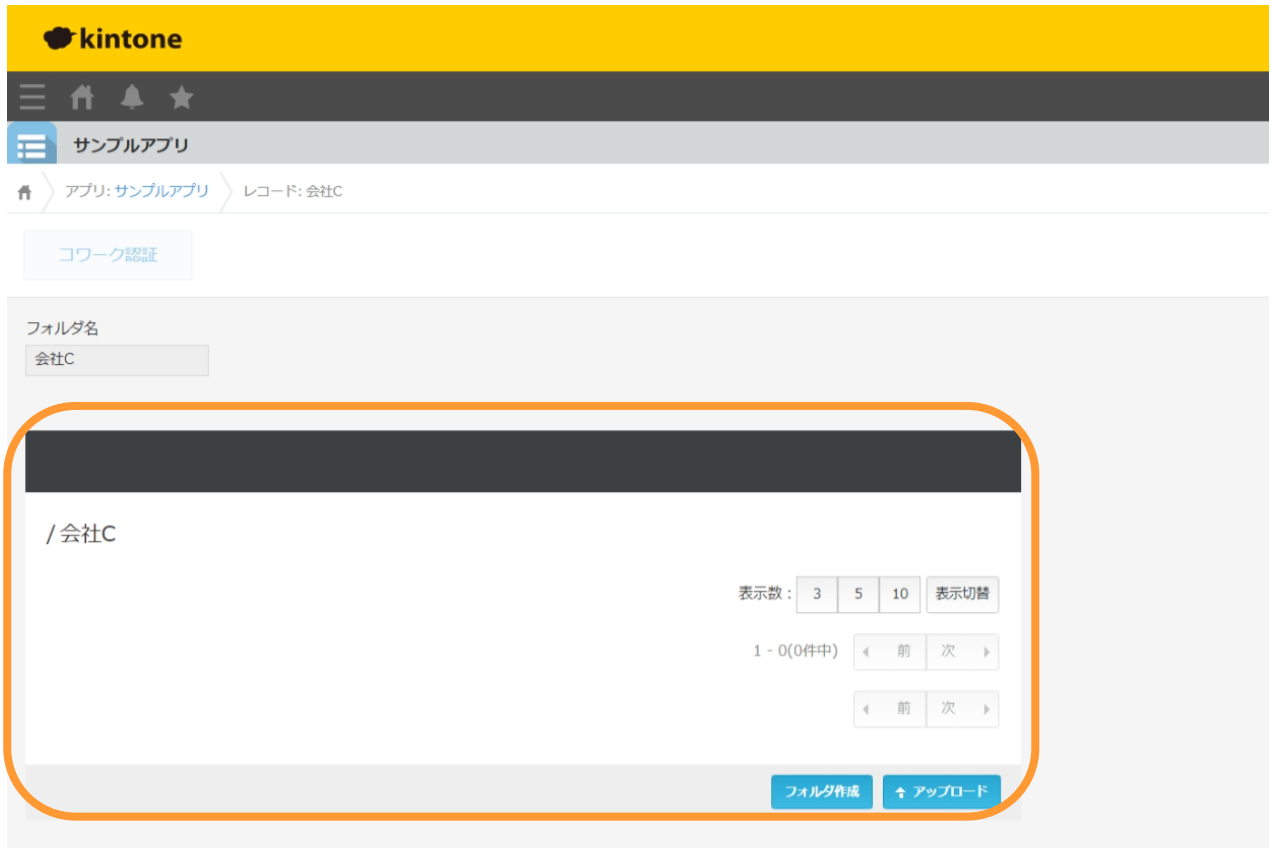
ここに注意

・フォルダ名として登録できる利用文字制限は本サービスの仕様と同様です。
※本サービスの仕様は、　利用マニュアル【サービス概要編】の
「８．仕様・制限事項」-「ファイル名・フォルダ名の利用文字制限」をご確認ください。

・他にフィールドがある場合には、必要に応じて登録してください。

2．レコードの作成

3．レコード詳細画面が表示され、作成したレコードに対応する
本サービスのフォルダがUIエリアに表示されます。
※UIエリアの操作は「6．ファイル操作」を参照ください。



※本サービス側にも対応するフォルダが自動的に作成されます。



3．レコードの編集

【レコード一覧画面で編集する場合】

1．レコード一覧画面で、編集したいレコードの[編集アイコン]を選択します。



2．変更したい項目を入力し、[保存する]を選択します。



3．ストレージのフォルダ名を更新するかの確認ダイアログが表示されます。
更新する場合：[保存]
更新しない場合：[キャンセル]



3．レコードの編集

4．編集した内容で更新されます。



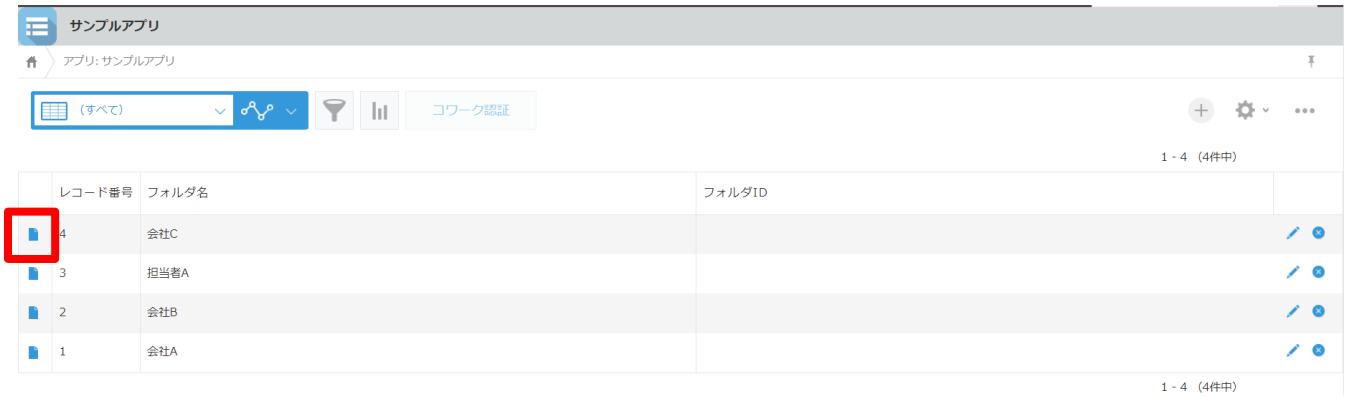
※本サービスのフォルダ名を更新するかのメッセージで[保存]を選択すると
本サービスのフォルダ名も更新されます。



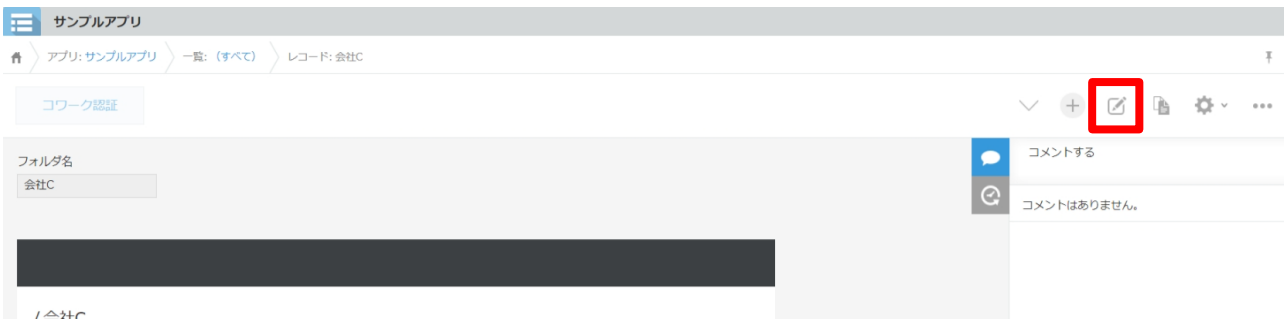
3．レコードの編集

【レコード編集画面で編集する場合】

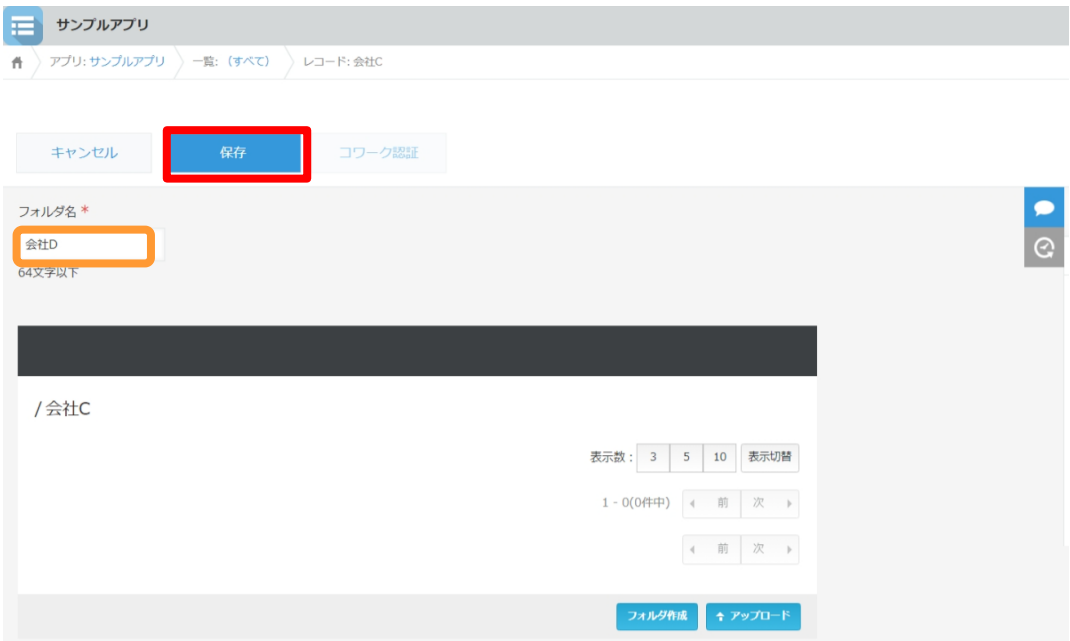
1．レコード一覧画面で、編集したいレコードの[詳細表示アイコン]を選択します。



2．レコード詳細画面で、[編集アイコン]を選択します。



3．変更したい項目を入力し、[保存]を選択します。



3．レコードの編集

4．本サービスのフォルダ名を更新するかのメッセージが表示されます。
更新する場合：[保存]
更新しない場合：[キャンセル]



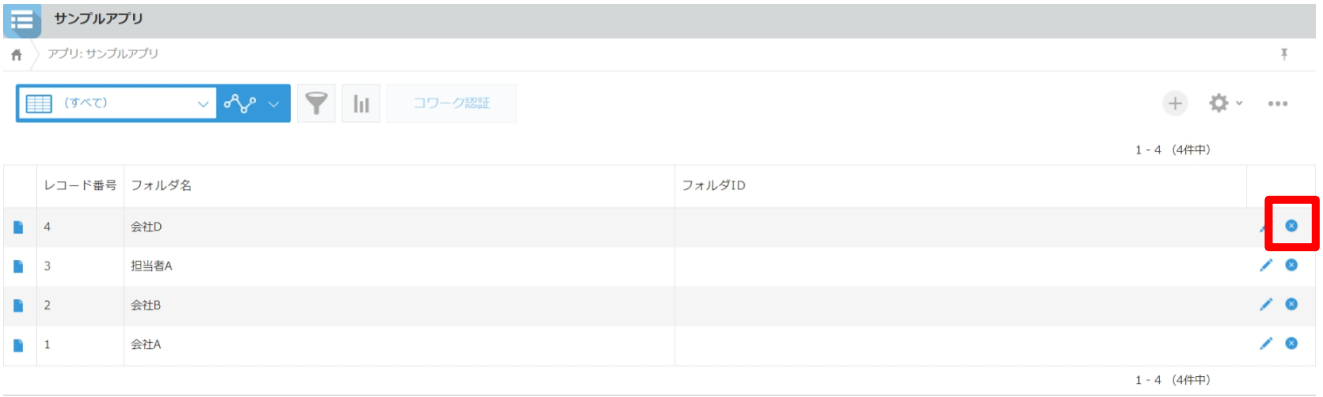
5．編集した内容で更新されます。
※本サービスのフォルダ名を更新するかのメッセージで[保存]を選択すると
UIに表示される本サービスのフォルダ名も更新されます。



※UIエリアでのファイル・フォルダ操作も可能です。
操作の詳細は、「6．ファイル・フォルダ操作」を参照ください。

4．レコードの削除

1．レコード一覧画面で、削除したいレコードの[削除アイコン]を選択します。



2．表示された確認ダイアログにて[削除する]を選択します。

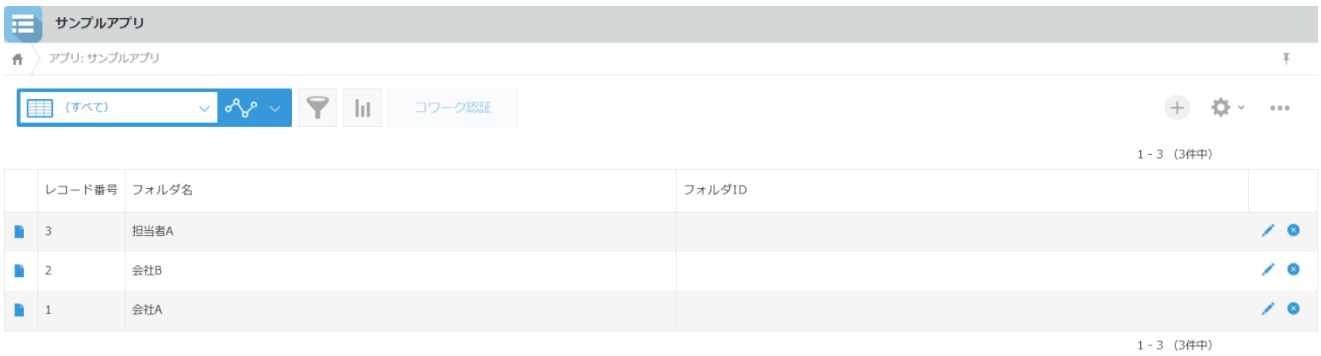


3．削除するレコードと連携している本サービスのフォルダを削除するかの
確認ダイアログが表示されます。
削除する場合：[削除]
削除しない場合：[キャンセル]



4．レコードの削除

4．対象のレコードが削除されます。



※本サービスからも対象のフォルダは削除されます。



ここに注意

・削除したレコードを元に戻し、再度本サービスと連携したい場合は、
以下操作を行ってください。
※kintone側に保存されていたフィールドの登録内容は復活できません。

1．本サービス側でゴミ箱から「元のフォルダ」に戻します。
※本サービスの操作は、利用マニュアル【操作編（一般ユーザ）
「Webブラウザ」】の「8．ゴミ箱」を参照ください。

2．プラグイン設定画面を開き、「連携するストレージのフォルダ設定」の
レコード生成にチェックを付ける。
※既にチェックが付いている場合はそのまま

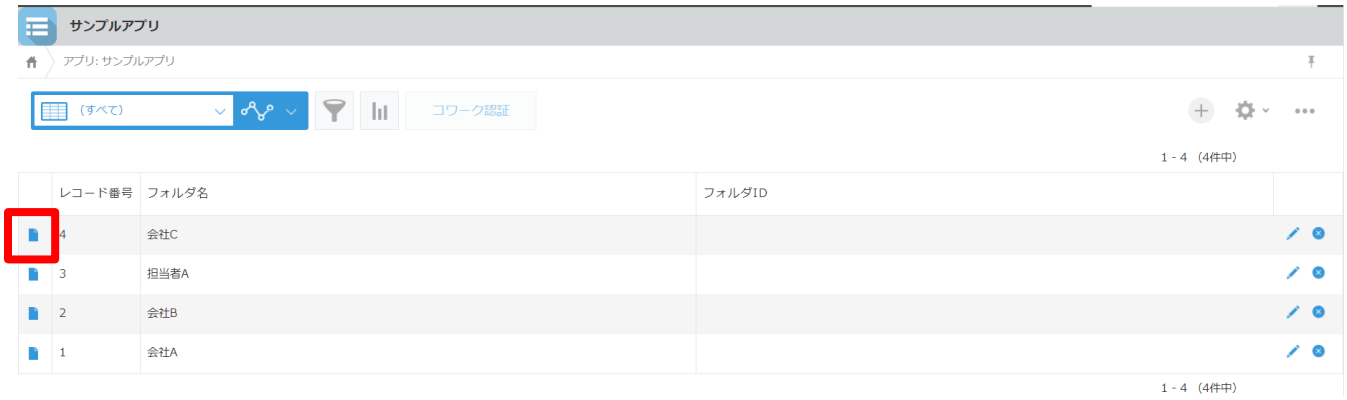


3．保存後に表示される確認ダイアログにて対象のフォルダをチェックし、
[保存する]を選択する。

4．レコード一覧画面に、削除したレコードが再度表示される。

5．レコード詳細の表示

1．レコード一覧画面で、詳細表示したいレコードの[詳細表示アイコン]を選択します。



2．レコード詳細画面が表示されます。



※UIエリアでのファイル・フォルダ操作も可能です。
操作の詳細は、「6．ファイル・フォルダ操作」を参照ください。

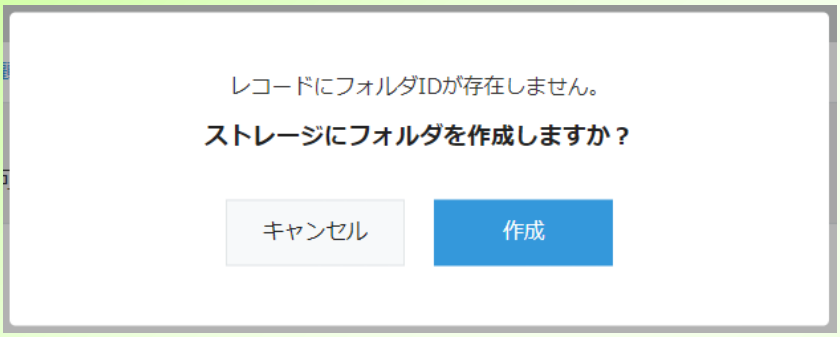
5．レコード詳細の表示

参考情報

プラグインを設定する前に作成されたレコードがある場合、
以下確認ダイアログが表示されます。

・本サービスと連携するフォルダを作成したい場合：**[作成]**
・本サービスと連携するフォルダを作成しない場合：**[キャンセル]**

を選択してください。



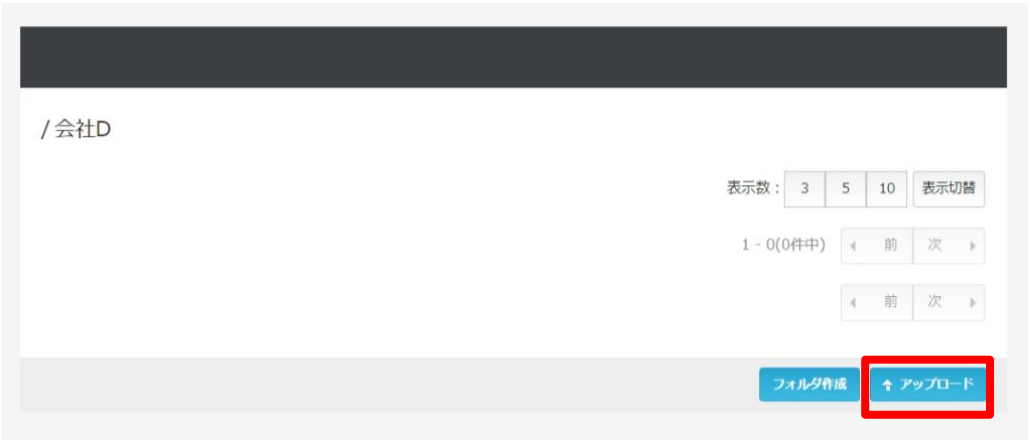
※[作成]を選択すると、本サービス側にレコードと対応するフォルダが作成されます。



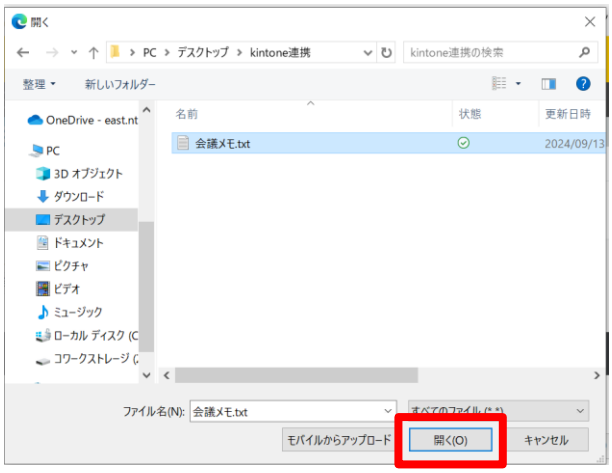
6．ファイル・フォルダ操作

①アップロード

1．UIエリアにて[アップロード]を選択します。



2．表示されたエクスプローラーにて、アップロードしたいファイルを選択します。



3．ファイルがアップロードされます。



6．ファイル・フォルダ操作

ここに注意

・kintone上から本サービスへアップロードできるサイズは最大**200MB**です。

・200MB以上(10GBまで)のファイルをアップロードしたい場合は、
以下の操作を行ってください。

1．200MB以上のをアップロードすると、以下メッセージが表示されます。
このメッセージ内の[こちら]を選択します。



2．アップロード先の対象フォルダを本サービスの画面側で表示されるので、
本サービスの画面上からアップロードを行ってください。



※10GB以上のファイルは本サービス上でもアップロードできません。

6．ファイル・フォルダ操作

②フォルダ作成

1．UIエリアにて[フォルダ作成]を選択します。



2．作成するフォルダ名を入力し、作成します。



3．作成したフォルダが表示されます。



6．ファイル・フォルダ操作

③名前の変更

1．UIエリアにて、名前の変更を行いたいファイル・フォルダの
[メニューボタン] – [名前の変更]を選択します。



2．表示された確認ダイアログにて、変更したい名前を入力し、保存してください。



3．ファイル・フォルダの名前が変更されます。



6．ファイル・フォルダ操作

④削除

1．UIエリアにて、削除を行いたいファイル・フォルダの
[メニューボタン] – [削除]を選択します。



2．表示された確認ダイアログにて、[削除]を選択します。



参考情報

削除したファイル・フォルダを復元する場合は
利用マニュアル「８．ゴミ箱」を参照ください。
【操作編（一般ユーザ）「Webブラウザ」】

3．対象のファイル・フォルダが削除されます。



6．ファイル・フォルダ操作

⑤移動

1．UIエリアにて、移動を行いたいファイル・フォルダの
[メニューボタン] – [移動]を選択します。



2．移動先のフォルダを選択して、保存します。



ここに注意

移動先のフォルダとして選択可能なのは、
プラグイン設定画面にて「連携するストレージの
フォルダ」として設定したフォルダ配下にある
フォルダのみです。

3．指定した移動先にファイル・フォルダが移動します。



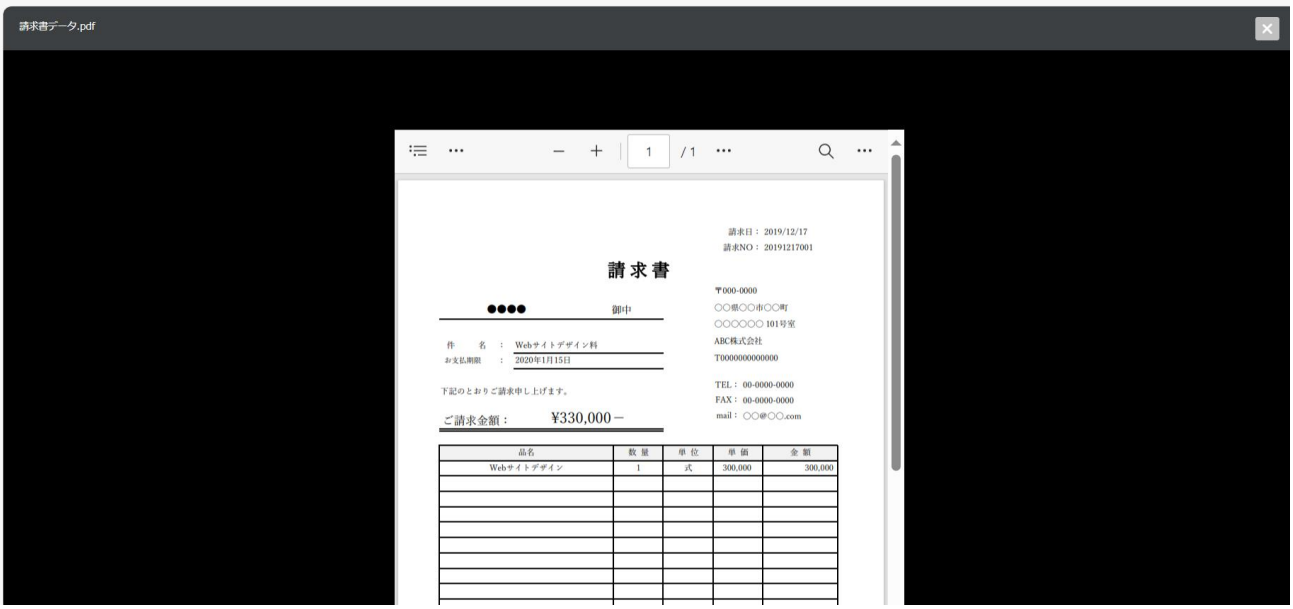
6．ファイル・フォルダ操作

⑥プレビュー

1．UIエリアにて、プレビューしたいファイルの
[メニューボタン] - [プレビュー]を選択します。



2．対象ファイルのプレビューが表示されます。



参考情報

・プレビュー可能なファイル形式は、利用マニュアル【操作編（一般ユーザ）［Webブラウザ］】「１１．Webのよくある質問」の「５．その他」をご確認ください

※Microsoft Office形式のファイルについてはkintone上からはプレビュー不可のため
コワークストレージ上でプレビューを実施してください。

6．ファイル・フォルダ操作

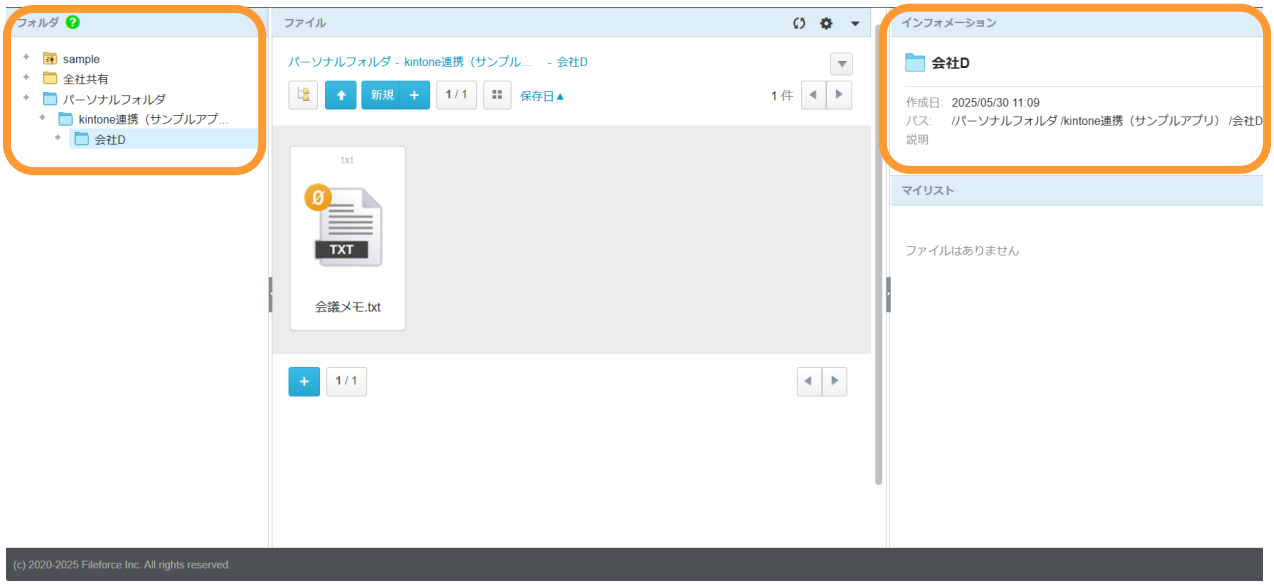
⑦ストレージで開く

ダウンロード、ファイルの編集、共有リンクの発行など、
kintone上で実施できない操作を行う場合の操作について説明します。

1．UIエリアにて、ストレージで開きたいファイル・フォルダの
[メニューボタン] - [ストレージで開く]を選択します。



2．対象フォルダ、または対象ファイルを保存しているフォルダが表示されます。



※ストレージ側のフォルダは1ページ目を表示します。

参考情報

・『各ファイル・フォルダ操作については、利用マニュアル【操作編（一般ユーザ）［Webブラウザ］】を参照ください。